

多言語対応推進フォーラム【やさしい日本語】

「多言語対応のレガシー～やさしい日本語と多言語音声翻訳～」

講師：萩元直樹 やさしい日本語×多言語音声翻訳プロモーター

令和2年12月23日、一年延期となった東京2020大会の開催を見据え、withコロナ時代の多言語対応の取組を紹介するため、「多言語対応推進フォーラム」が開催されました。東京2020オリンピック・パラリンピック組織委員会に所属する萩元氏から、2016年リオデジャネイロオリンピックでのプロモーション活動や、外国人との交流体験に基づく、「やさしい日本語」と「多言語音声翻訳」についての講演が行われました。



現在、在日外国人数は、日本の総人口の約2パーセントを占め、さらに、訪日外国人が増え続ける中で英語以外にも様々な言語に対応するニーズが高まってきています。しかし、従来の通訳者などによる多言語対応では、一人が対応できる言語の数に限界がありました。また、ICTを活用した多言語対応でもうまく翻訳できないことがしばしばありました。こうした課題解決の手段の一つとして推奨するのが、「やさしい日本語」で「多言語音声翻訳」を使う方法です。

「やさしい日本語」とは、わかりやすく語彙や文法を調整した日本語のことで、阪神淡路大震災をきっかけに弘前大学の佐藤教授が考案し、一橋大学の庵教授によって研究が進められました。やさしい日本語は外国人のみならず、高齢者や障害を抱える人にとっても有効なコミュニケーション手段です。やさしい日本語には、二重否定しない、短文で話すなどの基本となるルールがあり、誰にでも伝わりやすくするために「はっきり」、「最後まで」、「短く」話すことが重要です（「はさみの法則」）。

また、やさしい日本語は、多言語音声翻訳機にも認識されやすい話し方です。

2-3 やさしい日本語の例②

土足厳禁です。
→くつをぬいでください。
キャンセルしますか？
→やめますか？
お買い得です。
→いつもより安いです。

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）により開発された無料翻訳ツールに、「VoiceTra」というアプリがあります。VoiceTraは、「話しかけた内容」、「翻訳結果」、「翻訳結果の逆翻訳」が3段階で画面に表示されるところが特徴です。逆翻訳では、外国語に翻訳された文を日本語にもう一度翻訳されるため、話しかけた日本語が適切だったかを振り返って確認することができます。

3-7 なぜ、VoiceTraか？

①国が開発しているので信頼度が高い
②無料なので簡単に取り組める
③使い方がわかりやすい

新たなユーザーへ紹介しやすい

VoiceTraを活用することで、外国人との交流が促進されます。ただし、VoiceTraなどの翻訳ツールは、敬語やオノマトペ（状態などを音で表したもの。擬音語・擬態語）などの翻訳は難しいため、こうした言葉を使用せずに、やさしい日本語を用いるとより効果的です。

また、やさしい日本語と多言語音声翻訳の組み合わせは、「多文化共生社会の実現」につながる可能性を秘めています。東京2020大会に向けて、社会のダイバーシティ化がますます注目され、人種や国籍、性別などを越え多様な人材を活かすインクルージョンという考え方も広まっています。外国人も地域の人材であり、まちづくりの担い手になります。

5-3 やさしい日本語と多言語音声翻訳の相乗効果

ユーザー	やさしい日本語	多言語音声翻訳
もともとの性格	在住外国人向け的手段 →多文化共生	訪日外国人向け的手段 →観光・おもてなし
課題	日本語を理解しない外国人への対応ができない	①翻訳しづらい発話 ②ある程度日本語が分かる外国人や日本語で話したい外国人の対応が難しい
解決方法	多言語音声翻訳の活用	やさしい日本語を学習
実用性	訪日外国人対応が可能となる →観光・おもてなし	①翻訳効率の向上 ②在住外国人対応が可能となる →多文化共生

萩元氏は最後に、やさしい日本語と多言語音声翻訳は、東京2020大会に向けた一連の多言語対応のレガシーと言えるでしょうと結びました。

(令和3年1月作成)